

燃料電池ごみ収集車の導入について

ゼロカーボンシティ江東区の実現に向けて、水素燃料を用いた燃料電池ごみ収集車（以下「FCごみ収集車」という。）を将来的に本格導入するため、以下のとおり、東京都の集中支援事業を活用する。なお、当該事業は、本区が区部で唯一採択された。

1 内容（予定）

- (1) 導入車両
FCごみ収集車、5台以上
- (2) 用途
区内の家庭ごみ収集、水素エネルギーの区民向け普及啓発
- (3) 時期
車両メーカーによる生産台数拡大後（令和7年度以降）
- (4) 都の支援内容
導入費用の一部（車両本体価格の3/4）を都が負担

2 導入意義

- ・ごみ収集車の脱炭素化にいち早く取り組むことで、今後も江東区が清掃事業をリードしていく姿勢をひろくアピールする
- ・ゼロカーボンシティ江東区実現に向けたシンボルとなる
- ・都内自治体における水素ステーション設置数が最多でアクセスに優れている

3 今後のスケジュール

令和5年 12月中 都との連携協定締結
令和6年度 区民向け周知
令和7年度 以降 メーカーの生産台数拡大後、ごみ収集に導入

（参考）本事業の採択結果

- ・集中導入支援型（市販化車両5台以上導入に対し費用補助）
江東区、東久留米市・清瀬市・西東京市（3市共同実施）
- ・ステップアップ支援型（企画車両を一定期間無償貸与）
千代田区、台東区、葛飾区、江戸川区、ほか6市